



## ご挨拶

宮崎市中央地区青少年育成協議会 会長 二宮 祥彰

平素より青少年の健全育成に向けた活動にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

令和5年度はコロナ禍後の新しいスタートの年となりました。いろいろな課題があるかと思いますが、学校・PTA・地域みんなで協力して子どもたちを見守りましょう。

来年度もよろしくお願いいたします。



## 三校合同夏休み健全育成会議

令和5年7月5日(水) 北部記念体育館大研修室にて開催いたしました。

宮崎北警察署 生活安全課 少年係 係長 羽山洋平氏をお迎えし『青少年をめぐる非行・犯罪情勢』の講演をしていただきました。

ネット、スマホのある時代の子育て、保護者が正しく知っておきたい大切なポイントを、冊子を使い分かりやすくご説明いただきました。



令和5年度 三校合同夏休み健全育成会議

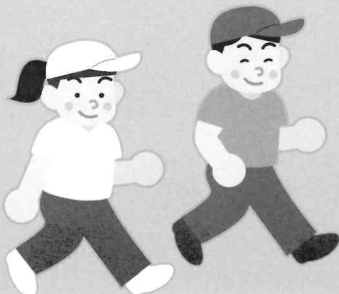


## 歩こう会 4年ぶりに開催されました

令和5年11月23日(木・祝)天候に恵まれ、225名の方々にご参加いただきました!

3校の子ども達、保護者の皆さんの日頃からのコミュニケーション、絆を感じる事ができました。

来年度も11月23日に開催予定です。多数のご参加をお待ちしております!



祇園運動広場を出発!



3校おやじの会で誘導を行いました!



平和台公園!



歩き終えた後の豚汁は最高でした!

# 宮崎市立西中学校



## 「ありがとう」でつながる笑顔

宮崎市立宮崎西中学校 校長 押川 幸廣

2月に入り、中学3年生の高校入試も本番を迎えている。すでに、私立高校では結果も出ており、私からも「合格おめでとう」と伝え、生徒から「ありがとうございます」と笑顔が返ってくる。素敵なやり取りの瞬間である。

そんな時、昼休み時間のグラウンドでの一場面である。生徒が、ボールで遊んでいたところ、上級生の集団のほうへボールが転がっていった。「〇〇、ボール取って」（呼び捨てでも問題ですが）と言うと、上級生は、お願いされた生徒の方へボールを蹴った。その後、お互いに声をかけ合うこともなく、遊びが続いた。

どうして、ボールを取ってくれたのに、「ありがとう」が言えないのだろうか。もしもあの時、「先輩、ありがとう」という言葉を伝えていれば、ボールを蹴ってくれた生徒も、「いいよ」と笑顔で答えたのではないだろうか。

こんなことがあり、学校ではどうだろうかと心配になった。プリントを配るときに、「はい、どうぞ」「ありがとう」。忘れ物をしたときに、「貸して」「どうぞ」「ありがとう」。休んでいる生徒の代わりに係をしてくれた生徒に「ありがとう」。こんな、何気ない会話が日常的にあれば、きっと笑顔がいっぱいの学校のなるのではないかと思っている。

そのためにも、大人が率先して、家庭や地域で子供たちに「ありがとう」のシャワーを浴びせ、多くの子供たちに、気持ちのよい体験を実感させることができればよいなと考えたところでした。



## メディアコントロールについて



情報化が進む中、ノーメディア（テレビ、インターネット等）という考え方でなく、メディアに触れる時間をコントロールすることができる力を育てることを目的にしています。「メディアの使用時間を減らそう。」「学習時間を増やそう。」「生活リズムを整えよう。」という3つの目標を掲げています。定期テスト前の1週間の時期にメディア使用時間、学習時間、就寝・起床時刻の目標設定と毎日の記録や1週間の振り返りを行っています。また、西池小・小戸小とも連携して実施しています。

西中

## おめでとう！ 令和5年度 善行児童・生徒表彰

今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、各校で分散開催いたしました。



学年生徒会役員として学年集会や校内の様々な行事を企画運営し宮崎西中学校の生徒会活動を盛り上げてくれました。

|      |         |      |         |
|------|---------|------|---------|
| 3年1組 | 寺西 葉さん  | 3年3組 | 申間 誼之さん |
| 3年2組 | 吉岡 杏梨さん | 3年4組 | 末安 心葉さん |



# 宮崎市立小戸小学校



『元気』『やる気』『本気』の小戸っ子～一年間を振り返って～

宮崎市立小戸小学校 校長 濱田 常義

子どもは地域や郷土の自然、伝統、文化を継承し、次代の世界を担う宝。大切な子どもを育てるために「自ら未来を切り拓く、たくましい子ども」～「元気」「やる気」「本気」の小戸っ子を目指し、教育活動を進めてきました。

地域や保護者の皆様には、教育環境整備、登校時の見守り、授業への協力等たくさんの御支援をいただきました。子どもたちの中には、地域の各種行事に進んで参加する子どももいました。一年間を振り返りますと、子どもたちが小戸のよさを知り、たくましくなってきたと感じます。地域、保護者の皆様の御支援に心から感謝いたします。

もうすぐ4月です。今後も皆様と連携し、「元気」「やる気」「本気」の小戸っ子を育てていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



## メディアコントロールについて



宮崎西中学校区（宮崎西中・西池小・小戸小）と連携して「メディアコントロール週間」を行っています。メディアコントロールを意識しながら生活リズムを整えることを重視しながら子どもたちの心身の健康についても考えてもらうことを目的としています。

メディアコントロール週間では、子ども達はもちろん、保護者も意識して取り組めていました。今後も引き続き、各家庭でメディアに対する意識が高まってくればと思います。

小戸小

## おめでとう！ 令和5年度 善行児童・生徒表彰

今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、各校で分散開催いたしました。



学級や学校の仕事に責任をもって取り組みその責任を果たすことで学校や学級生活の向上に大きく貢献しました。学校全体を動かしていく6年生ですが、特に学校のために率先して取り組む姿や、同級生や下級生に対して思いやりをもち優しく接する姿は、学年の模範となりました。

6年1組 毛利 南帆さん 6年2組 武 弘奈さん



# 宮崎市立西池小学校



## アフターコロナ元年

宮崎市立西池小学校 校長 衣笠 高広

今年度、フェスタのようにコロナ前から拡大した行事もあります。運動会のように保護者の皆様の意向を踏まえ現状維持とした行事もあります。行事ごとに諸条件を十分勘案して、その在り方を検討してきました。難しかったのは、コロナは五類に移行しても、インフルエンザは逆に流行したということです。そのため、感染症対策は相変わらず継続し、換気などの対策を取り続けました。学級閉鎖も複数実施せざるを得ませんでした。そのような中でも、「感動とときめきの教育」を合言葉に、体験的な学習を推進し、数々の外部講師による体験学習や芸術体験などを実施し、子供たちの「ワクワク・ドキドキ」を増やすような工夫をしました。調理実習や合奏合唱、体育館での全校集会等の復活はその一例です。子供も先生も元気になる「楽しい学校」の実現がアフターコロナの基本です。



## メディアコントロールについて



本校では、中学校区3校合同の取組として、「メディアコントロール週間」を設定し実施しました。中学校のテスト期間に合わせて1週間の期間で設定しており、その期間にメディアとどう関わるか、自分たちの生活リズムや状況を親子で考え目標を決めて取り組みました。保護者の皆様からは「メディアとの関わり方を考える、いい機会になった」などの感想をいただいたが、家庭によって取組に差があるなどの課題もありました。次年度は、より充実した取組となるよう努めていきたいと思えます。

西池小

## おめでとう！ 令和5年度 善行児童・生徒表彰

今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、各校で分散開催いたしました。



- 朝のボランティア活動に毎日取り組むことができたこと
- だれに対しても思いやりのある行動をとる姿がみんなのよい模範となったこと

6年1組 いで ゆうか 井手 友奏さん

6年3組 みずなが みさと 水永 光里さん

6年3組 たなか れお 田中 礼煌さん

6年2組 なかしま るな 中島 瑠菜さん

6年4組 ながせ ほのか 永瀬 朋佳さん



## 編集後記

三院校長をはじめ各学校の生徒指導主事の先生方、PTA役員の皆さんには原稿依頼や資料等、ご協力いただき感謝しております。

今年度は様々な行事を通して、いかに子どもたちの安全な環境作りにご尽力下さっているか再確認できた一年でした。来年度も多くの活動をお届けできるよう、活動してまいります。

広報部 部長 小倉幸子